令和２年度　小・中学校における環境教育の取組み

総合的な学習の時間（第1学年）

**テーマ〖私たちのSDGｓ**～今、10年後の世界を考える～**〗**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　高槻市立第三中学校

≪学習のねらい≫

・誰もが住みやすい社会・環境・経済にするために必要なことは何かを考える力を身につけ、今が未来へとつながっていることを意識させる。

・世界で起こっていることを知ったうえで、身近なことにも気づかせる機会とする。

・自分事として物事をとらえ、変化の激しい世界で生きていくために、自分にできることを考える。

≪学習の流れ≫

　実施時期　　６月　～　８月

1. **「SDGｓについて学ぼう」**

・国連やユニセフなどの公的機関が発信している情報を

もとに17項目について、クイズ形式で理解を深める。

1. **「プロジェクトを考えよう」**

・各テーマの課題を解決するプロジェクトを個人で考える。

・班で一人ひとりの意見を交流し、担当するテーマを決定する。

1. **「実現可能性と効果を考える」**

・班が担当するテーマの中でどのプロジェクトを実施するかを決定する。

1. **「班でプロジェクトを練り上げる①②」**

・PC室での調べ学習や教室で資料つくりを行う。

1. **「調査日・クラス内プレゼン準備①②」**

・現地に出て、課題について調査する。また、プレゼンに向けて役割分担、発表練習を行う。

1. **「クラス内プレゼン大会」「学年プレゼン大会」**

・各班ごとにプロジェクトを発表する。各クラスから選ばれた２班ずつ計10班の発表を鑑賞し、学年全体でも実施できることなのかどうか、効果はあるかについて評価しあう。

≪指導のポイント≫

　■世界が直面している数多くの課題を自分なりに理解し、今の自分たちでできることを考えさせる。

　■考えたプロジェクトを実行するにあたり、それが自分たちで実現できることなのか、そして、課題に対して効果があることなのかを考えさせる。

■学んだこと・感じたことをどう表現すれば相手に伝わり、行動に移すことへつながるかを意識して授業に取り組ませる。

≪活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー　等≫

　・国際連合広報センター・外務省ホームページ

≪成果≫

・世界の課題を知り、遠いことのように思えていたことが、今回の学びを通して身近にも起こっていることであると感じさせることが振り返りから読みとれた。

・2030年のことを想像することで、今自分たちがどう行動するかを考える良い機会となった。

・班活動を中心に行うことで、それぞれが役割を果たそうとする意識が高まった。また、仲間と力を合わせて一つのプログラムを創り上げるために、たくさんコミュニケーションを取り合うことができた。

・調べたり、発表したりすることで、プロジェクトを実行する意欲を高め、生徒が主体的に行動することができた。







